平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	141		
会計	一般会計				
事務事業名	火葬事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		墓地、埋葬等に関する法律　及び　同施行規則
				飯田市斎苑条例　及び　同施行規則
				飯田市市外火葬場利用補助金交付要綱

事業目的		
	対象	斎苑利用者
	意図	快適な環境で市の斎苑を利用できる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	下伊那北部火葬場の稼働により収入（斎苑使用料）が減少しており、今後の斎苑施設の維持管理等を見据えると、制度等の見直しを検討していく必要があります。 また、施設建物の耐用年数を考慮し、次期施設のあり方を検討していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	快適な環境で市民が斎苑を利用できるよう斎苑の管理に努めるとともに、NPO法人飯田葬祭事業組合へ委託し火葬事業に取り組みます。 　あわせて、支障なく使用が出来るよう、斎苑施設の維持整備に努めます。 　また、上村・南信濃地区合併時の申し合わせにより、上村・南信濃地区住民の阿南斎場での火葬に対して、公平性を担保します。	斎苑管理費	10,569
		火葬業務委託事業費	20,972
		斎苑施設整備事業費	4,104
		市外火葬場利用支援事業費	1,404
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	斎苑稼働日数	日	302			
	事故等により火葬が出来なかった件数	件	0			
	市外火葬場利用補助件数	件	36			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	37,049	（そ）斎苑使用料
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	20,274	
	一般財源	16,775	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	10	1	10,569 / 0	斎苑管理費
2	1	4	1	4	10	2	20,972 / 0	火葬業務委託事業費
3	1	4	1	4	10	3	4,104 / 0	斎苑施設整備事業費
4	1	4	1	4	10	4	1,404 / 0	市外火葬場利用支援事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 141　事業名 火葬事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	業務用冷凍空調機器の簡易点検(四半期1回以上)	○	○
											漏洩時の修理	漏洩時の修理	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
灯油の漏洩による地下水や土壌の汚染	貯蔵している灯油 年度末 漏洩がない	地下タンクの定期点検を年１回実施する	点検を実施→漏洩なし	○	点検を実施→漏洩なし	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	142		
会計	一般会計				
事務事業名	環境衛生事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		動物の愛護及び管理に関する法律
				化製場等に関する法律
				公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律

事業目的		
	対象	生活環境（河川、周辺環境等）
	意図	市民参加により良好に環境が保たれている

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	人口減少や高齢化などにより、地域ぐるみで取り組んできた河川清掃の実施が難しくなりつつあります。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
身近な環境を自分たちの手で改善する活動の一つとして、全市一斉に河川清掃を実施するよう呼びかけます。 　アメリカシロヒトリの食害から緑の環境を守るため、地区団体がアメリカシロヒトリの共同防除を行うに際し、希望により車両及び動力噴霧器の貸し出し並びに薬品の払い出しを行います。 　公共の場で死亡している動物（主には犬、猫、タヌキ、ハクビシン）を回収することで、道路等公共敷きの衛生及び美観の維持に努めます。 　公衆衛生の向上の一環として、公衆浴場の設備が適正に保たれるよう、浴場設備の改善促進のため補助金を交付します。	水辺等美化活動事業（河川清掃事業）	2,978
	アメリカシロヒトリ対策事業	342
	死亡動物回収事業	2,443
	公衆浴場設備改善事業	780
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
河川清掃参加人数	人	19,000			
アメリカシロヒトリ防除車貸出件数(薬含む)	件	30			
死亡動物回収件数	件	750			
公衆浴場設備改善事業補助件数	件	1			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	6,543	（県）公衆浴場設備改善事業等補助金（１／２）
国庫支出金	0	
県支出金	390	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	6,153	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	11	1	6,543 / 0	環境衛生事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 142　事業名 環境衛生事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		農薬取締法	農薬の保管庫の管理、農薬の保管量の把握、利用状況の記録	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
アメシロ農薬の保管管理不全（盗難等）による汚染	アメシロ農薬 年度末 保管管理を徹底	農薬を保管庫で管理する。 農薬の保管量の把握、利用状況を記録する。	農薬は保管庫で管理 農薬の保管量の把握、利用状況を記録した	○	農薬は保管庫で管理 農薬の保管量の把握、利用状況を記録した	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	143		
会計	一般会計				
事業区分	経常	実施区分	継続		
開始		終了			

事務事業名	公衆便所事業			
担当課等名	環境課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		廃棄物の処理及び清掃に関する法律（第5条第5号）

事業目的	対象	公衆トイレ
	意図	常に良好な利用環境を保つ

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	いたずら等による汚れ、破損等を早期に発見し補修を行う必要があります。 施設の老朽化や時代に合わない施設について、改修又は廃止を検討する必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市内13箇所の公衆トイレ（中央公園1F・2F、長姫公園、長姫神社、扇町駐車場、市公民館前、吾妻町公園、大宮神社、羽場権現堂、鼎名古熊展望公園、時又駅前、駄科駅前、上村天神峡、山の神）を、常にきれいに維持します。 損壊、故障等を発見した場合、良好な利用環境の提供のため、直ちに修繕を行います。	公衆便所事業費	4,198
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	管理する公衆便所数	個所	13			
	改善要望等に対応し処理した件数（率）	%	100			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	4,198	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	4,198	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	12	1	4,198 / 0	公衆便所事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 143　事業名 公衆便所事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	144		
会計	一般会計				
事務事業名	畜犬事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		狂犬病予防法　及び　同施行規則
				動物の愛護及び管理に関する条例
				飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例

事業目的		
	対象	飼い主　及び　市民
	意図	狂犬病を予防し、正しい飼い方を身につける

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	フンの放置等、飼い主のマナーの低下による苦情等が増加しています。 近年、猫の苦情が増えています。飼い猫、野良猫にかかわらず、予定外に子猫が増えることで、猫による被害が増えているものと推測されます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	狂犬病予防注射の集合注射を、4月（一次注射）から5・6月（二次注射）にかけて、獣医師会の協力を得て市内各地で実施します。 　正しい飼い方やマナーを守った飼い方を啓発するため、市の広報等による、マナー啓発を実施します。 　地区から申し出のある犬の糞尿苦情に対応するため、マナー啓発看板の設置を行います。	犬の登録事務及び狂犬病予防注射事務	3,793
		マナー啓発事務	94
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	接種頭数	頭	4,900			
	啓発回数	回	3			
	看板設置個所（単年）	箇所	6			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,887	（そ）畜犬登録事務手数料
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	3,745	
	一般財源	142	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	13	1	3,887 0	畜犬事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 144　事業名 畜犬事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	146		
会計	一般会計				
事務事業名	環境汚染対策事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
	法令・例規等		環境基本法	
			騒音規制法	
			悪臭防止法	

事業目的		
	対象	市民の生活環境
	意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境を維持する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	市民の環境意識の向上

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・簡易浄化槽の適正な管理のために啓発・指導に取り組みます。 ・市内の主要な河川の水質検査を実施し汚染状況を把握します。 ・地下水(井戸水)の水質等を把握します。また、リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響を把握するため、関係地の地下水の水位等を把握します。 ・自動車騒音、悪臭、その他の測定により実態を把握します。 ・環境汚染が発見された場合は、長野県をはじめ関係機関と連携して速やかに適切な対応に努めます。 ・行政代執行により保管している一般廃棄物(断熱材ウレタンフォーム)を処分します。	生活雑排水汚泥汚泥処理関連経費	2,607
		河川水質保全関連経費	3,427
		地下水水質管理関連経費	2,045
		騒音・悪臭その他公害防止関連経費	5,382
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	生活雑排水汚泥汲取量	kl	280			
	河川のBODの目標の達成率	%	100			
	市が斡旋する井戸水検査受検世帯数	世帯	200			
	騒音の環境基準達成率	%	70			
	悪臭の防止目標の達成率	%	100			
	微小粒子状物質（PM2.5）の現状と動向	基準達成・未達成	達成			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	13,461	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	13,461	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	11	2	2,607 / 0	生活雑排水汚泥処理事業費
2	1	4	1	5	11	3	3,427 / 0	河川水質保全事業費
3	1	4	1	5	11	4	2,045 / 0	地下水水質管理事業費
4	1	4	1	5	12	1	5,382 / 0	騒音・悪臭その他公害防止対策費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 146　事業名 環境汚染対策事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		飯田市環境基本条例　第６条	市は基本理念の実現を図るため、大気、水、土壌等を良好な状態に保つことにより、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する施策を推進しなければならない。	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	147		
会計	一般会計				
事務事業名	自然環境保全推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
	法令・例規等		生物多様性基本法	

事業目的		
	対象	飯田市の自然環境
	意図	飯田市の自然環境の保全

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	市民一人ひとりが緑と生物多様性の重要性を認識し、地域ぐるみで保全活動を推進する。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・南アルプス自然環境保全活用連携協議会(3県10市町村)活動に取り組みます。 ・南アルプスユネスコエコパーク、ジオパークの説明や展示を実施し、地域資源をPRをして地域活性化に取り組みます。 ・南アルプスユネスコエコパーク登山道誘導標識を設置するための支援をします。 ・「緑と生物多様性の重要性」の啓発に取り組みます。	南アルプスユネスコエコパーク推進事業	1,835
		生物多様性保全事業	50
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	南アルプス遠山郷を訪れた人数	千人	200			
	市内希少動植物保全団体数を把握	団体	10			
	動植物調査報告件数	件	460			
	自然環境保全啓発活動	回	5			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,885	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,885	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	13	2	1,835 / 0	南アルプスユネスコエコパーク推進事業費
2	1	4	1	5	13	3	50 / 0	生物多様性保全事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 147　事業名 自然環境保全推進事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		飯田市環境基本条例　第３条	市は基本理念にのっとり、市域の自然的社会的状況に応じた総合的かつ計画的な環境の保全及び創造に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。	○	○
登山誘導標識の設置		○		－	－	－	×	－	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	148		
会計	一般会計				
事務事業名	環境教育推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
	法令・例規等		環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律	

事業目的		
	対象	市民
	意図	環境保全について理解を深め、環境保全活動を行う意欲の増進

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	豊かな自然を保全しこれと共生する地域社会を構築すること、また、循環型社会を形成し環境への負荷を低減すること、これらの重要性を踏まえ、市民の自発的意思を尊重し、多様な主体がそれぞれ適切な役割を果たし、相互の協力により環境教育をおこなうこと。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・自然観察会を開催し、自然とのふれあいの場の創出。 ・環境ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰと環境学習プログラムの推進。 ・環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習の機会を設けることで、環境保全への意識の高揚に努める。 ・小学校4年生や地域団体を対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全への意識の高揚に努める。 ・市内小学校4年生を対象に、自然環境保全ポスターの作製を通じて環境保全への意識の高揚に努める。また、入選作品を市内公民館へ展示、ポスター看板を作製して各地区へ掲示することにより、多くの市民の環境保全への意識の高揚に努める。 ・環境に関する啓発メールの配信。	環境教育推進関連事業	2,141
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	自然と触れ合いを持ったことがある市民の割合	%	40			
	自然観察会への参加人数	人	50			
	環境学習会（講演会、研修会）への参加人数	人	100			
	環境産業公園、グリーンバレー千代の見学人数	人	1,000			
	自然環境保全ポスターの応募人数	人	650			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,141	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,141	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	15	2	2,141 / 0	環境教育推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 148　事業名 環境教育推進事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律　第６条	環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関し、飯田市域の自然的社会的条件に応じた施策を策定し、実施する。	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	159		
会計	一般会計				
事務事業名	３Ｒ推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
			飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
			飯田市分別収集計画	
	法令・例規等	○	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
			循環型社会形成推進基本法	
			容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	

事業目的		
	対象	市民
	意図	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	生活や事業活動の中に３Ｒが習慣化することを目指し、発生抑制や再使用にしっかり取り組みながら、資源ごみの適正な分別と排出の徹底を図る必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）の啓発に取り組みます。 資源ごみの適正な分別と排出方法の周知を行います。 ごみ処理費用負担制度の運用を行います。 資源物回収団体への支援を行います。 資源ごみの適正処理を行います。 リサイクルステーションの管理運営を行います。 生ごみ処理機器を購入した世帯への支援を行います。	３Ｒ周知啓発関連経費	3,227
		ごみ処理費用負担制度関連経費	15,355
		資源回収事業補助金	3,300
		容器包装リサイクル回収業務関係経費	47,525
		リサイクルステーション管理事業経費	2,860
		生ごみ処理機器購入費補助金関連経費	4,014
		生ごみ収集運搬業務経費	5,723
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	市民一人あたりが１日に排出するごみの量	g	534			
	（家庭系一般廃棄物）					
	ごみ収集方法の周知世帯数	世帯	39,755			
	資源ごみ（プラ）収集運搬日数	日	48			
	資源ごみ（金属）収集運搬日数	日	24			
	リサイクルステーション開催日数	日	48			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	82,004	（そ）ガラスびん売却代 37千円 （そ）古紙売却代 9,240千円 （そ）家電リサイクル料金 329千円 （そ）ペットボトル再商品化有償入札による還元金 1,197千円 （そ）容器包装再商品化合理化還元金 3,116千円 （そ）ごみ処理手数料 59,173千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	73,092	
	一般財源	8,912	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	10	1	21,882 / 0	リサイクル収集推進事業費
2	1	4	2	1	10	2	50,385 / 0	容器包装リサイクル事業費
3	1	4	2	1	10	3	4,014 / 0	生ごみ処理機器購入費補助事業費
4	1	4	2	1	10	5	5,723 / 0	家庭生ごみ分別収集推進事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 159　事業名 ３Ｒ推進事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画・実施計画	定期的なごみの収集	○	○
ごみの収集漏れ		○		－	－	－	－	－	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・景観上、好ましくない状況が発生する可能性があります。	定期的なごみの収集 年度末まで 公衆衛生上の支障を発生させない	業務の着実な遂行のための啓発 委託業者、まちづくり委員会と環境課の連携による適正なごみ回収及びごみ集積所の管理	定期的にごみを収集した。 公衆衛生上の支障は発生していない。	○	定期的にごみを収集した。 公衆衛生上の支障は発生していない。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	160		
会計	一般会計				
事務事業名	地域環境美化推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
			飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
			飯田市分別収集計画	
	法令・例規等	○	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
			廃棄物の処理及び清掃に関する条例	
			飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例	

事業目的		
	対象	一般廃棄物
	意図	不法投棄とポイ捨て等の防止

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	飯田市域内における不法投棄及びポイ捨て等の根絶を目指し、地域の環境美化に取り組み、ポイ捨て等をされにくい環境づくりを進める必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地域環境美化活動の実施により不法投棄とポイ捨ての防止に努めます。 地域の実情に合った環境美化活動を継続的に実施するとともに、その支援を行います。	環境美化活動支援経費	599
		地域環境美化推進事業補助金	4,000
		不法投棄パトロール関連経費	2,225
		不法投棄・ポイ捨て等防止関連経費	6,002
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	環境美化活動に取り組んだ市民等の割合	%	33.3			
	（市民等…市民、地域、団体、事業者）					
	不法投棄パトロール実施日数	日	480			
	環境美化活動支援数	件	20			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	12,826	（そ）ごみ処理手数料
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	4,000	
	一般財源	8,826	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	11	1	4,599 / 0	環境美化推進事業費
2	1	4	2	1	11	2	8,227 / 0	不法投棄対策事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 160　事業名 地域環境美化推進事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	不法投棄の根絶	○	○
不法投棄・ポイ捨てによるごみの放置		○		○	－	－	○	－	－	○	ポイ捨て等の禁止及び環境美化の推進	ポイ捨て等根絶、環境美化推進	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・公衆衛生上、好ましくない状況が発生する可能性があります。 ・地域環境の美化が損なわれる可能性があります。	ポイ捨ての根絶、ポイ捨て等の禁止及び環境美化の推進 年度末まで 放置による公衆衛生上の支障を発生させない	不法投棄パトロール員、地域、県、警察と環境課の連携による不法投棄に対する迅速な対応（投棄者への厳格な対応と地域環境の美化を維持するための回収）	不法投棄案件に対して厳格な対応を行った。公衆衛生上の支障は発生していない。	○	不法投棄案件に対して厳格な対応を行った。公衆衛生上の支障は発生していない。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	161		
会計	一般会計				
事務事業名	ごみ適正処理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
			飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
			飯田市分別収集計画	
	法令・例規等	○	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
			循環型社会形成推進基本法	
			特定家庭用機器再商品化法	

事業目的		
	対象	一般廃棄物
	意図	着実な収集運搬及び適正な処理

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	ごみの適正な分別と排出を徹底していく必要があります。 着実な収集運搬と適正な処理の継続的な実施を行う必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	ごみの分別及び排出方法の周知を行います。 ごみ集積所に排出されたごみの収集運搬を行います。 リサイクルステーションに排出されたごみの収集運搬を行います。 粗大ごみの戸別収集を行います。 ごみ集積所の管理を行います。	ごみ適正排出管理関連経費	5,598
		ごみ収集運搬業務経費	261,601
		リサイクルステーション回収運搬業務経費	15,568
		粗大ごみ戸別収集運搬業務経費	630
		ごみ・リサイクルカレンダー印刷配布経費	12,086
		ごみ集積所管理事業経費	5,740
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	市民一人あたりが１日に排出するごみの量	g	534			
	（家庭系一般廃棄物）					
	ごみ排出方法の周知世帯数	世帯	39,755			
	ごみ集積所管理日数	日	307			
	ごみ収集運搬日数	日	307			
	リサイクルステーションごみ回収日数	日	48			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	301,223	（そ）一般廃棄物処理業許可手数料 114千円 （そ）粗大ごみ戸別収集処理手数料 750千円 （そ）ごみ処理手数料 5,740千円 （そ）ごみ袋公告掲載料 1,080千円 （そ）ごみ袋売却代 35千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	7,719	
	一般財源	293,504	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	10	1	301,223 / 0	ごみ収集処理事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 161　事業名 ごみ適正処理事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画・実施計画	定期的なごみの収集	○	○
ごみの収集漏れ		○		×	―	―	―	―	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・長い時間放置されたごみから悪臭が発生する可能性があります。 ・景観、公衆衛生上、好ましくない状況が発生する可能性があります。	定期的なごみの収集 年度末まで 公衆衛生上の支障を発生させない	業務の着実な遂行のための啓発 委託業者、まちづくり委員会と環境課の連携による適正なごみ回収及びごみ集積所の管理	定期的にごみを収集した。 公衆衛生上の支障は発生していない。	○	定期的にごみを収集した。 公衆衛生上の支障は発生していない。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	162		
会計	一般会計				
事務事業名	最終処分場管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’ いいだ環境プラン）	
			飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
			飯田市分別収集計画	
	法令・例規等	○	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
			廃棄物の処理及び清掃に関する条例	

事業目的		
	対象	市内から発生する家庭系一般廃棄物（埋立ごみ）
	意図	適正な処理、水質の管理

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	埋立ごみの円滑な受入と、適正な処理を行うと共に、環境基準に適合した河川放流をするため水処理施設の管理を行います。

29年度取組

取組内容

1 埋立ごみ（委託業者、一般持込）の受入をします。
2 埋立ごみに含まれる資源の分別回収をします。
3 ごみの埋立処理をします。
4 焼却灰の埋立処理をします。
5 浸出水処理施設の管理をします。
6 旧処分場の維持管理をします。

経費の内容	事業費(千円)
埋立ごみの適正処理	44,793
水処理施設の維持管理	14,376
旧処分場の維持管理	7,552
その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
年間受入量（火災ごみ、焼却灰を除く）	t	1,650			
年間埋立量（覆土を除く）	?	2,500			
再資源化量	t	50			
水質検査回数	回	12			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費 計	66,721
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	14,448
一般財源	52,273

特定財源内訳及び補足事項

（そ）最終処分場搬入ごみ処理手数料 2,765千円
（そ）ごみ処理手数料 11,371千円
（そ）太陽光発電収入 262千円
（そ）処分場分別資源売却代 50千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	11	4	66,721 / 0	一般廃棄物最終処分場管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 162　事業名 最終処分場管理事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		使用済み自動車の再資源化等に関する法律(第８条、73条)	リサイクル券の保管(自動車所有時)引取証明書の保管(自動車廃棄時)（1年）	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	21	事業No.	379		
会計	墓地事業特別会計				
事務事業名	市営墓地経営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	環境課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		墓地、埋葬等に関する法律　及び　同施行規則
				飯田市営霊園条例　及び　同施行規則

事業目的		
	対象	飯田市内に居住の市民及び飯田市に本籍のある市営墓地の使用希望者
	意図	市営墓地を希望する人のための墓地を整備し、墓地の良好な環境を保持する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	墓地の希望者、墓地の返還者の状況から、墓地の需要を的確につかんで区画造成していくとともに、墓地の承継者がいなくなる世相なども勘案し、今後の市営霊園のあり方も含めて検討していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	墓地経営は、維持管理の観点から地方公共団体が経営することが責務となっています。市営霊園では、快適で衛生的な環境を保つために公有部分の維持管理を行うことはもちろんのこと、使用者へも聖地内の管理について呼び掛けを行います。そのためには、常に使用者の把握に努め、承継や変更等を直ちに墓地台帳へ反映するよう努めます。 平成16年度から造成・整備を行っている西部霊園は、逐次区画の増設を行っており、残区画の状況をみながら新区画造成の検討を行います。	市営霊園管理事業	8,774
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	維持管理する霊園数	個所	4			
	市営霊園新区画の造成	区画	0			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	8,774	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,774	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	8	1	1	1	10	1	8,774 / 0	一般管理費
2	8	1	1	2	10	1	0 / 0	墓地造成事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 379　事業名 市営墓地経営事業　　環境課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
墓地の漏水	桐林墓地公園 平成31年度 漏水個所を特定する	漏水が疑われる箇所付近を優先に止水栓を設置するなどして漏水個所を絞り込む	漏水が発生したため応急処置を実施 緊急性が高いと判断し園内全域の配管布設替を計画	○	漏水箇所を調査し、対策工事を実施したため、漏水が解消された。	○